

# あらかわ

## 区議会だより

No.203

平成 22 年 1 月 17 日発行

編集・発行／荒川区議会 ホームページアドレス <http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>  
〒116-8501 東京都荒川区荒川 2-2-3 電話03-3802-3111 (代表)

新年号  
平成 21 年第 4 回定例会号

### 迎春 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。  
区民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、区の人口が30年ぶりに20万人を突破しました。とりわけ人口増加の著しい南千住地区では、多くの子育て世代が転入し、子育てや教育分野の行政需要が高まっており、これに対応するため、本年、汐入東小学校、汐入こども園を開設するほか、新たな認証保育所の誘致開設を予定しております。子育て支援は区の重要課題の一つであり、安心して子どもを生み、育てることができる環境を荒川区全域で整備するため、今後も重点的に取り組んでまいります。

また、昨年10月には、12年の歳月をかけて進めてきた日暮里駅前地区再開発事業が完了し、区の玄関口に相応しい街に大きく変貌を遂げました。本年には、日暮里駅と成田空港を36分結ぶ成田新高速鉄道の開業が予定されていることも相まって、さらなる集客により活気と賑わいのある街の実現が期待されるところでございます。

その他にも、区政の各分野において、区民のニーズに対応した質の高いサービスを提供する施策が着実に進展しており、こうした施策の充実が昨年度の区政世論調査で明らかになった定住志向の向上に寄与していると考えております。

一方、地域経済と区民の皆様のご生活は、回復の兆しの見えな景気の影響を受けて依然として苦しい状況が続いており、本年も区民の皆様のご暮らしを守ることが区政の最重要の課題となっております。

新たな年を迎え、区議会といたしましては、引き続き執行機関と連携し、区政の各分野において迅速かつ的確な施策の展開を図ってまいります。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
結びに、区民の皆様にとって本年が幸多い年となるようお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。



議長 茂木 弘



副議長 萩野 勝

## 議案の審議結果 平成 21 年第 4 回定例会

○ 賛成 × 反対 - 退席  
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)						結果
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	尚志会	
	14	6	6	2	1	1	
<b>議員提出議案 (6件)</b>							
第17号 都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○	可決
第18号 固定資産税の償却資産に関する意見書提出について	○	○	○	○	○	○	可決
第19号 平成 22 年度予算の年内編成を求める意見書提出について	○	○	×	×	-	×	可決
第20号 高速道路原則無料化の撤回を求める意見書提出について	○	○	○	×	○	×	可決
第21号 悉皆方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書提出について	○	○	×	×	×	○	可決
第22号 失業給付の全国延長給付の発動を行うよう求める意見書提出について	○	○	○	×	○	○	可決
<b>区長提出議案 (15件)</b>							
第57号 荒川区立こども園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第58号 荒川区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
第59号 平成 21 年度荒川区一般会計補正予算 (第 3 回)	○	○	○	○	○	○	可決
第60号 (仮称) 白鬚西地区内小学校及び汐入こども園建築工事請負契約の一部を変更する契約	○	○	○	○	○	○	可決
第61号 財産の取得 (学校情報通信技術教育機器) について	○	○	○	○	○	○	可決
第62号 財産の取得 (D級ポンプセット) について	○	○	○	○	○	○	可決
第63号 荒川総合スポーツセンターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	×	○	可決
第64号 南千住駅前ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第65号 荒木田ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第66号 西尾久ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	可決
第67号 荒川区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決
第68号 荒川区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決
第69号 荒川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決
第70号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決
第71号 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可決

## 区議会第4回定例会 一般会計補正予算など議案21件を可決

区議会第4回定例会は、11月27日から12月11日までの15日間の会期で開かれました。本会議の1日目と2日目には、5人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。本定例会では、意見書6件、議案15件が提出され、いずれも原案どおり可決されました。

### 第4回定例会日程

- 11月27日 本会議
- 11月30日 本会議
- 12月1日 総務企画委員会
- 福祉・区民生活委員会
- 12月4日 文教・子育て支援委員会
- 建設環境委員会
- 12月9日 議会運営委員会
- 12月11日 本会議

### 掲載記事のご案内

- 4面 新春を迎えて  
―各会派新年の抱負―  
各会派の構成
- 3面・2面 区政の「こころ」をきく  
一般質問要旨  
守屋 誠議員 (自民党)  
保坂 正仁議員 (公明党)  
小林 行男議員 (共産党)  
浅川 喜文議員 (正論の会)  
竹内 捷美議員 (自民党)  
意見書提出  
採択した請願・陳情  
「さらなる議会改革の方策について」諮問

# 区政のつぎをわく

## 一般質問要旨

### 財政問題、荒川区の奨学金のあり方と新たな奨学金制度の創設について



守屋 誠  
(自民党)

財政問題について

**問** 財政問題は、区政運営の根幹に関わるものであり、区政が区民を幸せにするシステムであり続けるためにも、持続可能で安定した自主財源の確保に取り組むべきである。急激な景気後退の影響により、財調交付金の減少が見込まれる中で、今後どのような区政運営を行っていくのか。

**答** 財調交付金は大幅な減少が予想されるが、区民サービスの充実に向けてなすべきことを着実に進めるため、予算執行や予算編成の思い切った見直しを覚悟している。区としては、区民の区政への期待に応えられるよう、全庁を挙げて直面する危機的な財政状況を克服すべく努力をしていく。

**問** 三河島水再生センターに水力発電と売電の仕組みを構築し、それに区が参画することで、自主財源の確保につなげてはどうか。また、歳出の削減策として、行政委員が退任や就任する月の報酬の支払い方法については、日割りに改めるべきと考えるがどうか。さらに、議会の議長等の報酬も同様

に改めるべきであり、議会改革の中での検討を要望する。

**答** 提案の水力発電による財源確保は、都との協議や採算などの課題もあり、先行事例等を参考に調査研究するとともに、他の分野でも積極的に自主財源の確保に向けて努力していく。また、月の途中で退任・就任した行政委員に対する報酬については、制度を速やかに改善するとともに、その他の歳出も適宜見直し、効率的かつ効果的な区政運営に努めていく。

**問** 荒川区の奨学金のあり方と新たな奨学金制度の創設について

**答** 意欲のある子どもたちが経済的な理由により就学を断念することがないように、国を挙げてその対策を講ずるとともに、区としても国の施策と連携を図りながら支援の充実を努めるべきであるが、現在、区が実施している奨学金制度の意義と最近の貸し付け動向、今後の展望について問う。また、現在の奨学金制度に加え、区に優秀な人材を確保するため、一定期間、区内で勤務することなどを条件に奨学金の返済を免除する

といった、大学生を対象とした新たな奨学金制度を創設してはどうか。

**答** 区では、平成21年度入学生17名に高等学校等への入学準備に必要な経費の貸し付けを行い、現在、59名の生徒が本制度を活用して高等学校等に通学している。本制度は自己の能力を伸ばす機会を提供し、社会の一員としての成長を支援するとともに、区の将来を担う優秀な人材を育成する制度として、有効に活用されており、今

後も効果的な運用に努めていく。

新たな奨学金の創設に関しては、国の返済免除を視野に入れた奨学金制度の検討や、民間の独自の支援制度などの動向を見据えながら、地域の活性化や優秀な人材の確保などの観点も踏まえ、調査研究していく。

その他の質問項目  
○債権管理について

### 障がい者福祉と環境問題について



保坂 正仁  
(公明党)

障がい者福祉について

**問** 高次脳機能障がい者が、自分の生き方を再認識できるたんぼセンターの「グループワーク」を拡充させるため、場所の確保と専門職員増員をすべきと考えるがどうか。

**答** 区としては、高次脳機能障がいなどの若年中途障がい者が、地域で希望を持ち、安心して生活が送れるよう、「グループワーク」の充実に向け検討していく。

**問** 音声で紙面の情報を得られる「音声コード」に関する情報を

的確に把握し、研修、広報事業を実施すべきである。また、「音声コード」を作成する作業所をつくり、就業支援を行っていくべきでは、国で開発中の携帯電話を使用した「音声コード」の普及は、視覚障がい者の情報バリアフリー化につながると期待しており、区でも研修や広報に努める。「音声コード」作成作業は、障がい者団体等と協議しつつ、検討していく。

**問** 親亡き後、重度及び知的身体重複障がい者が一生生涯らしていける障がい者入所施設を建設する

べきと考えるがどうか。

**答** 終(つひ)の住みかとなりうる入所施設が区内に必要であると認識しているが、用地の確保等の課題もあり、今後、入所施設の整備について十分な検討をしていく。

**問** 区の「低炭素地域づくり計画」策定にあたっては、具体的な数値目標を掲げ、区民にわかりやすく親しみやすい施策とすべきと考える。また、計画の実施には、部や課を超えた実働部隊、仮称「チーム・エコ」を結成してはどうか。

**答** 計画では、家庭や業務等部門別のCO2削減数値目標を設定し、区民にわかりやすい取り組みや実効性の高い具体的な施策を進めていきたい。また、区の地球温暖化対策実施には、各部署の連携は不可欠であり、横断的な推進組織を計画の中で明らかにし、施策の実施に積極的に取り組んでいく。

**問** 屋上緑化や太陽光発電等の普及促進に向け、区役所本庁舎屋

### 失業者・家族をホームレスにしない緊急対策と暮らしと雇用、営業を守る対策について



小林 行男  
(共産党)

失業者・家族をホームレスにしない緊急対策について

**問** 失業者の職業訓練と生活保障を行う支援策、失業給付の延長や雇用調整助成金の期間延長などの改善を国に求めるとともに、区として可能な支援策を検討すべき。

**答** 区では、国の雇用確保対策の動向を注視するとともに、就労上の緑化と太陽光発電の設置を行い、区民に開放するなどしてはどうか。

**問** 本庁舎屋上は、区でヒートアイランド対策に取り組み観点から緑化の推進を検討したい。また、屋上緑化や太陽光発電の普及啓発の場としては、本庁舎2階ベランダの活用の可能性を検討していきたい。

**問** 区は、試験的に本庁舎地下駐車場等にLED照明を設置しているが、より効果的な場所への設置に向け、優先順位を盛り込んだ設置計画が必要と考えるがどうか。

**答** 区では、区内街路灯の計画的なLED灯への付け替えを考慮しており、今後、効果的な場所を中心に、優先順位を考えた計画を立て、積極的に導入していく。

その他の質問項目  
○政権交代に伴う区政運営の在り方について  
○健康都市あらかわの実現に向けて

事業の改善を申し入れていく。

**問** 区の仕事・生活サポートデスクなど総合相談窓口の強化と充実を行うこと。うつ相談などになげられる専門員も配置すべき。

**答** 仕事・生活サポートデスクは、専門相談員の配置や関係機関との連携強化により、相談者に適した機関への引き継ぎや制度紹介の体制を構築しており、今後も相談に真摯に対応していく。精神的な問題を抱えた相談者には、障害者福祉課と連携し、対応している。

**問** 暮らしと雇用、営業を守る対策について

**答** 高齢者の家賃助成事業は、年齢制限や支給限度額などを改善すること。

**問** 区では、高齢者家賃助成事業の利用促進に向け、現在、要件の見直しを検討している。

**答** 小規模工事を地元業者に発注する仕組みづくりを再検討すべき。また、シルバークンセンターへの区発注を増やすべき。

**問** 区では、小規模工事等を受注した業者の情報を共有、活用しているが、今後もより適切な発注方法を検討していく。シルバークンセンターに対しては、高齢者の就業機会を拡大する観点から、積極的な発注に努めていく。

**問** 住宅ローンボーナス支払いなどの緊急支援に応急小口資金の活用を図ってはどうか。

**答** 現下の雇用経済情勢の下、区民生活の大変厳しい状況は認識しているが、区の応急資金貸付金の使途を借入金返済にまで拡大することは適当ではないと考える。

その他の質問項目  
○「地方分権改革」に対する見解  
○生活困窮への緊急対策について  
○保育園の行き届いた基準と増設  
○新型インフルエンザへの対応  
○肺炎球菌ワクチン接種助成  
○区の平和事業の充実について

### 荒川区の教育力向上とより区民生活に密着した環境施策に向けて



浅川 喜文  
(正論の会)

荒川区の教育力向上に向けて

区内にエディブル・スクールのヤード(食べられる校庭)を設置し、近隣の「街力(まちぢから)」を活用した地に足の着いた食育を展開すべきと考えるがどうか。

一部の学校では、簡易式プランターでの野菜づくりや屋上菜園の設置などの取り組みが行われており、今後、学校の施設・設備の状況も踏まえ、取り組みの充実、

地域との連携を検討していく。

橋本左内等、区とかかわりの深い人物や歴史を取り入れた区独自の心のノートを作成し、地域や社会的役割を理解できる道徳教育を推進すべきと考えるがどうか。

児童・生徒が理解しやすく、道徳性の涵養にふさわしい道徳資料や郷土資料集などの作成に努め、道徳教育の充実を図っていく。団塊の世代の大量退職を受

け新任教員が増大し、経験不足による指導力低下が、学校現場で顕在化している。補助教員の配置など、臨機応変の支援をすべき。

新規採用教員の実践的指導力の早期習得に向け、区独自の研修体制の整備や初任者への個別の授業の実践指導を行っており、今後も育成に力を入れていく。より区民生活に密着した環境施策に向けて

環境面で持続可能な社会づくりとして、生ごみを堆肥化し、再利用する事業を確立することは重要で意義のあることであり、ダンボールコンポストによる堆肥化の推進や生ごみの集団回収を検討すべきと考えるがどうか。

家庭での生ごみ減量の取り組みとして、提案のダンボールコンポスト等を積極的に紹介していく。また、生ごみの集団回収は、

### 視覚障害者に「音」の光を、「景観条例」の促進について



竹内 捷美  
(自民党)

視覚障害者に「音」の光を

視覚障害者にとっては、音声での情報が重要である。最近ではデジタイズ図書や、パソコン等の音声変換ソフトなど格段に進歩しているが、日常生活において、郵便物、新聞、広告や学校のお知らせ等、その時に知りたい情報に対し、すぐに代読をするという支援事業が必要と考える。区では音訳者の養成講座を開始しているが、視覚障害者へのコミュニケーション支援として、自宅等に音訳者を派

遣する事業を展開してはどうか。

区では、録音テープによる区報や便利帳、点字による印刷物での区政情報の提供、図書館等での音読サービス等を実施しているが、個人あての郵便物、新聞等は他の人に読んでもらわなければならない、必要なとき、気軽に代読を依頼できる制度への要望もある。このため区では、対面音訳者の養成講座を開始しており、今後、講座終了者を派遣し、コミュニケーション支援の充実を図っていく。

### 「景観条例」の促進について

良好な景観は、潤いのある豊かな生活環境の創造に不可欠であり、区民共通の資産として、整備、保全を図らなければならない。国の景観法では、景観の保全、整備のための基本理念や行政、事業者、住民の責務を明確にし、また、景観形成の規制や仕組み、支援措置が位置づけられ、一定の実行性を持った景観形成を進めることが可能となったが、景観形成に対する区的基本的な考え方を問う。

平成16年に景観法が制定され、都では平成19年、景観条例改正、景観計画策定を行った。国や都の動向を踏まえ、区では、来年度中の景観条例の制定とこれに基づく計画の策定を目指し、景観計画検討委員会を設置して検討を進めている。区民共通の資産として、区の特徴を生かした景観づくりに全力で取り組んでいく。

区が景観法に基づく景観行政団体となり、景観条例の制定と景観計画の策定を行うことによる具体的な区民のメリットについて問う。

これまでの要綱と異なり、対象建築物の規制・誘導による地域の独自性を生かした景観形成ができ、区民が求める快適な生活環境の向上がある。区としては、メリットを生かし、良好な景観形成に全力で取り組んでいく。

景観計画の策定にあたっては、区に点在する素晴らしい自然や歴史的、文化的景観のある地域、場所などの景観要素を生かすべき

詳細については現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。また、荒川区議会ホームページ(<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>)で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。

### 意見書提出

本定例会では6件を可決し、関係機関に提出しました。

都市計画税及び固定資産税の軽減措置等の継続に関する意見書 (東京都知事あて)

固定資産税の償却資産に関する意見書 (衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣あて)

平成22年度予算の年内編成を求める意見書 (内閣総理大臣、副総理・国家戦略担当大臣、総務大臣、財務大臣、内閣官房長官、行政刷新担当大臣あて)

失業給付の全国延長給付の発動を行うよう求める意見書 (内閣総理大臣、厚生労働大臣あて)

悉皆方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書 (衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・国家戦略担当大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣官房長官あて)

### 採択した請願・陳情

採択

小規模住宅用地の都市計画税の軽減措置の継続についての意見書の提出を求める請願

小規模非住宅用地の固定資産税等の減免措置の継続についての意見書の提出を求める請願

商業地等の固定資産税等の負担水準の上限を引き下げる減額措置の継続についての意見書の提出を求める請願

償却資産に係る固定資産税の改正要望についての意見書の提出を求める請願

趣旨採択

生活保護の「老齢加算」「母子加算」復活を要求する国への意見書を求める陳情

### 「さらなる議会改革の方策について」議会運営委員会に諮問



荒川区議会では、これまで継続して議会改革に取り組みできました。平成21年11月26日、茂木弘議長は、議会運営委員会に対し、時代の大きな変化の中で区民の負託に応え、議会の権能を発揮し、責務を果たしていくため、さらなる議会改革推進のための具体的方策について、諮問を行いました。

(写真右から萩野勝副議長、茂木弘議長、小坂眞三議会運営委員会委員長、保坂正仁同委員長)

平成22年荒川区議会第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。

# 新春を迎えて

## 各会派新年の抱負

### 自民党

謹んで新年初春のお慶びを申し上げます。

昨年同様不況はまだまだ好転の兆しを見せず、新型インフルエンザの脅威もまだまだ予断を許しません。国政では政権の混乱が起り、経済回復の見通しが不透明な中、新たな年を迎えました。

さて、昨年夏の都議会・衆議院議員選挙で、自民党は厳しい国民の審判を受けたわけですが、みなさまからの叱咤激励と受け止め、私たち自民党区議団は区議会第一党として、常に区民の目線に立ち、地に足の着いた区政を真摯に推進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【新型インフルエンザ対策】

他に先駆け取り組んできた新型インフルエンザ対策が功を奏し、幸いにも区内では大きな混乱はありません。しかし、多くの患者が

出しており、猛威は衰えていません。これに対しワクチンの優先接種対象者に対する助成を実現させました。引き続き安心して生活していただけるよう充実させていきます。

#### 【区内商工業の活性化支援】

区内商工業の活性化は喫緊の課題です。区独自の融資制度の充実、区内事業者優先の契約制度の推進、産学官連携による新規産業の創設に加え、商店街の不況対策として、昨年はプレミアム付区内共通お買い物券を実現させました。

#### 【教育改革・子育て支援】

習熟度別学習や、英語教育、国語力向上に引き続き取り組み、学校図書を充実、図書館指導員を全校配置させました。また、子供達の医療費無料化、区立幼稚園全園入園料無料化、3歳児保育を実現。

#### 【まちづくり】

道路や公園の整備について、区道の電線類地中化をはじめ、ガードパイプの計画的整備、バリアフリーを推進してまいります。町屋と尾久に新しくできる公園の整備を積極的に進めていきます。併せて駅前緑化を推進します。

#### 【行財政改革】

25年余に渡る行財政改革の推進の結果、区の財政状況が大幅に改善してまいりました。議会改革も含め、2月半ばから始まる予算委員会においても、引き続き真に必要な政策に特化した予算編成に努めてまいります。

### 公明党

新年を寿ぎ、謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は公明党に対する絶大なご支援をいただき誠にありがとうございました。公明党は昨年9月党再建にむけて、山口那津男新代表が就任し、新たな体制でスタートいたしました。

公明党は、「大衆と共に」との、揺るぎない立党精神のもと「福祉・平和・教育・環境・人権」など、公明党らしさを鮮明にし、政策実現のため、全力で働いてまいります。

す。

私達公明党区議団は、介護問題

総点検などの実態調査をもとに、常に生活者の声を真剣に受け止め、次の重点政策を推進してまいります。

- ① 行財政改革（事業仕分け）等のさらなる推進
- ② 特別養護老人ホームの増設
- ③ 介護施設及び介護従事者への支援強化
- ④ 高齢者の住環境の充実（家賃補助等）
- ⑤ 全小学校に子供の居場所づくりの拡大
- ⑥ 教育複合施設（児童育成・図書館）の建設
- ⑦ 新型インフルエンザの助成策の強化

### 共産党

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、「構造改革」路線を推進し貧困と格差を拡大した自公政治退場の国民の審判が下りました。日本共産党は、新政権に対し後期高齢者医療制度廃止、障害者自立支援法廃止、労働者派遣法抜本改正など国民の願い実現を求める

とともに、問題点を正し、建設的野党として真に国民が主人公の政治実現に向け奮闘するものです。

また、平和や生存権をはじめとする憲法の大事な原則を守り抜き、区政のすみずみに生かす努力をいっそう強めます。いま社会保障切り下げ、雇用の規制緩和、給与の引き下げなどによるデフレと円高によって、区内経済と区民のくらしと営業は、きわめて深刻です。

### 民主・市民

昨年、国民一人一人の力によって民主党政権が誕生をいたしました。国政・都政と連携をはかりながら、「区民が納得・満足の実感出来る区政」、「情報公開と市民参画」を目指し、清水ひろし、せの喜代は本年も取り組んでまいります。

### 元気クラブ

商店街の売上回復。中小製造業の受注回復。雇用の心配払拭。アメリカ依存の経済と政治を変えて、下町・荒川区の元気を取り戻そう。

### 尚志会

日本共産党区議団は、失業給付の延長やシルバーなどの仕事確保、区内企業への融資の充実、住宅ローン破産の防止対策、総合相談窓口の強化などを求めています。

また、引き続き区民のくらし最優先の区政をめざして▽低所得者の介護保険料の免除制度▽重度要介護高齢者に福祉手当▽高齢者に「入院見舞金」▽高齢者の国保取り上げ中止▽「ふるわり200」の回数増▽待機児童を生まない保育園の計画的建設▽保育基準緩和をやめさせ、ゆきとどいた保育実現▽小中学校の教材教具や給食費の公費負担拡充▽就学援助の条件緩和▽30人学級をめざし、当面小学校低学年からの少人数学級実現▽障害者福祉サービス自己負担をゼロ▽適正賃金を保証する「公契約条例」制定…などの実現に力をつくします。

くらしでも、働き方でも、子育てでも人問らしく希望の持てる社会へ前進できる年になるよう、みなさんと力合わせてがんばりましょう。

みなさんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 正論の会

日本の伝統・文化・誇りを守り、正直者が馬鹿を見ない社会へ！日本の国柄を壊す外国人参政権に断固反対していきましょう！

### 元氣クラブ

江戸時代、日本人は世界一の環境生活を実現した。今それを再現するダンボールコンポストを荒川区から日本中に発信。今年目標！

### 各会派の構成

<b>自由民主党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 小坂 眞三 副幹事長 志村 博司 齊藤 泰紀 明戸真弓美	<b>公明党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 保坂 正仁 副幹事長 戸田 光昭 吉田 詠子 中村 尚郎 萩野 勝 武藤 文平	<b>日本共産党</b> 荒川区議会議員団 幹事長 横山 幸次 小林 行男 安部キヨ子 齊藤 邦子 相馬 堅一 小島 和男	<b>民主・市民の会</b> 幹事長 清水 啓史 副幹事長 瀬野 喜代	<b>あらかわ元気クラブ</b> 幹事長 齊藤 裕子	<b>尚志会</b> 幹事長 小坂 英二	<b>正論の会</b> 幹事長 浅川 喜文
---	--	--	---	-------------------------------	-------------------------	--------------------------